



26府政広陳収第39号の2

平成27年2月5日

自然エネルギーを考える会

会長 宮井迅吉様

府中市長 高野律雄



東京都環境局推薦の小学校への太陽光発電設備設置の寄付についてのお尋ねについて、回答いたします。

アサヒビル株式会社からの寄付につきましては、平成26年11月に東京都から生活環境部環境政策課に対して推薦の打診がございました。当該提案は、本市が推進する再生可能エネルギーの利活用及び学校における環境学習に非常に有意義な提案であり、関係課において検討しましたが、寄付の条件のうち「太陽光発電設備の設置に係る技術的な条件等を満たしていること」に該当する施設がなく、回答期限内に条件を満たすことができないため、諸条件が整い次第、再度推薦の機会を頂きたい旨を併せ、同年12月に辞退の回答をいたしました。

本市では、これまで、府中第十小学校・府中第三中学校・府中第五中学校において校舎の改築に伴い太陽光発電設備の設置や屋上緑化を実施し、また、小学校では校庭の芝生化を行うなど、環境学習を考慮した施設整備を行ってまいりました。しかしながら、その他の学校施設につきましては、昭和40年代の旧耐震基準で建築された施設が多く、また、学校施設は災害時等には避難施設となることから、早急な耐震化が必要と判断し、耐震化工事を実施いたしました。耐震化工事においては、児童・生徒の安全性や施設の本来機能を優先的に考え、新たな負荷を掛けないことを前提とした方式を採用して

おり、新たな荷重増につきましては、大変難しい状況であると考えております。また、校舎全体も老朽化しており、屋上防水につきましても雨漏りが発生しているなど、全面的な改修が必要な状況となっております。

このことから、市の学校施設の老朽化対策として、平成28年度までに調査を行い、計画を策定する予定しております。

今後も、引き続き、太陽光発電システムに関する寄付や補助金などを活用するなど十分検討し、環境学習の場を設けるとともに、環境に配慮した施設づくりを進めてまいりたいと考えておりますので、ご理解並びにご協力くださいますようお願いいたします。